

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	ガイダンス	わたしたちが変わるよ	表紙～7	・これまでの自分の成長を自覚し、なりたい自分をイメージしたりよりよい家庭生活について考えたりして2学年間の学習の見直しをもつことができる。	1	・自分の成長や家族・家庭生活について、2学年間の学習に見直しをもち、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。			○	発言記録	特別活動(小1など) 生活科(小1・2) 社会(小3) 理科(小3・4)	
		毎日の生活を支える家族の仕事	8・9	・毎日の生活を見つめて、生活を支える家族の仕事にはどのような種類があるかがわかり、どのように取り組んだらよいかを考えることができる。	1	・家庭の仕事にどのように取り組んだらよいか考えている。			○	発言記録	自分の成長には多くの人々の支えがあったこと・支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつこと(小2生活)	生活時間をマネジメント(6年)
	なぜ調理をするのだ	10～13	・調理の手順や加熱用調理器具の安全な取り扱い方がわかり、湯をわかしてお茶をいれることができる。	1	・加熱用調理器具の安全な扱い方がわかり、湯をわかして、お茶をいれることができる。			○		行動観察 記録		できることを増やしてクッキング(6年) こんだてを工夫して(6年) 日常食の調理をしよう(中1) 肉の調理を工夫しよう(中1) 魚の調理を工夫しよう(中1) 野菜の調理を工夫しよう(中1)
	クッキングはじめの一步	ゆでて食べよう	14～17	・青菜のゆで方がわかり、ゆでることができる。 ・じゃがいものゆで方がわかり、ゆでることができる。	4	・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び、加熱調理器具の安全な取扱い、材料に応じた洗いやゆで方、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。 ・おいしく食べるために、ゆでる調理の仕方について問題を見だし、課題を設定している。 ・ゆでる調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	発言記録 行動観察		
5	クッキング	作ろうでおいしい料理を	18・19	・必要な材料や手順を考え、調理計画を立てることができる。 ・調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。	3	・材料に適したゆで方について理解しているとともに、適切にできる。 ・おいしく食べるためにゆでる調理の調理計画について考え、工夫している。 ・ゆでる調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。	○	○	○	発言記録 行動観察		
		振り返り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に学習に 取り組む態度			
6	ソーイングは はじめの 一歩	うな ぜ針 と糸 でぬ うの だろ	20	・この題材でできるようになること、製作するものなどを具体的に知り、見直しをもって取り組むことができる。	5	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・練習縫いをする中で、糸の準備の仕方やそれぞれの縫い方の特徴をつかみ、適切に縫うためにはどうしたらよいか考えて取り組んでいる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、自らの課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 作品 記録	衣服の手入れで快適に(6年) ソーイングで生活を豊かに(6年) 生活を豊かにするための工夫をしよう(中2) 衣服の手入れをしよう(中2)	
		ど のよ うな 用具 や方 法で ぬう のだ らう	21 ～ 24	・玉結びと玉どめの役割と作り方がわかり、適切な位置に適切な大きさの玉結びを作ることができる。 ・なみ縫い・返し縫いの仕方がわかり、適度な大きさを縫うことができる。 ・それぞれの縫い方の特徴から、その用途を考慮することができる。 ・ボタン付けの仕方がわかり、じょうぶにボタン付けをすることができる。 ・かがり縫いの仕方がわかり、適度な大きさを縫うことができる。	5	・製作に必要な材料や手順がわかる。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作に、習得した技能を適切に用いてよりよい方法を考えながら取り組んでいる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
		う手 ぬい を 生 活に 生か そ	25 ～ 27	・自分の生活を豊かにするための小物を考え、作り方の手順を考え、見直しをもって製作できる。 ・自分の製作をふり返って、できるようになったことやこれからもっとやってみようことなどを考えることができる。	3	・既習事項を理解している。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
	返 振 り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			
	すな げの 整 だ 理 ろ ・整 と ん を	28 ・ 29	・整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定することができる。	1	・整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定している。			○		発言 記録	資源の確保とごみの処理(小4社会)	クリーン作戦で快適に(小6) 持続可能な社会のために(小6) 健康で快適な室内環境を工夫しよう(中2) よりよい住生活を目指して(中2)
	整 理・ 整 と ん を し よ う	30 ・ 31	・住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、それに係る技能を身に付けることができる。 ・住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。 ・環境に配慮した物の使い方について理解することができる。	2	・住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、適切にできる。 ・住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・環境に配慮した物の使い方について理解している。	○		○		発言 行動観察 記録		
7	整理・整 とん を し よ う を 快 適 で 安 心 に し よ う	全 身 の し り よ う を 快 適 で 安 心 に し よ う	32 ・ 33	・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとする事ができる。 課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする事ができる。	1	・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとしている。 ・整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。			○	発言 行動観察 記録		
		返 振 り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
	できるよ家庭の仕事	工夫自分しよう できる仕事をしよう	34・35	・学んだことをふり返って自分にできる仕事を見つけ、実行の計画を立てることができる。	1	・学んだことを生かして、自分なりの仕事の工夫を考えて計画を立てている。 ・課題に向かって意欲的に取り組んでいる。		○	○	発言 記録 行動観察	家族や身近な人々の役割に気付くこと(小2生活) 火の使い方(小4理科)	生活時間をマネジメント(6年) できることを増やしてクッキング(6年) こんだてを工夫して(6年) 日常食の調理をしよう(中1)	
		家庭の仕事をしよう	36	・自分の仕事として、工夫しながら続けることができる。	1	・仕事を工夫して実践したり、実践をふり返り改善しようとしていたりしている。			○	発言 記録 行動観察			
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			
9	ミシンで楽しくソーイング	ミシンのぬいのよさは何だ	38	・身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき、ミシンに関心をもち、ミシン縫いの特徴がわかる。		・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作(ミシン縫い)について問題を見いだして課題を設定している。		○		発言 記録		ソーイングで生活を豊かに(6年) 生活を豊かにするための工夫をしよう(中2)	
		ミシンの使い方を知らう	39～41	・ミシンの安全な使い方を知り、ミシンの準備やから縫いができる。	5	・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		○	○	発言 行動観察 作品 記録			
10	ミシンを使って製作しよう	ミシンを使って製作しよう	42～47	・ミシンを使って布を用いて製作するものを考え、製作計画を立てて製作し、活用することができる。	6	・製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解している。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、製作計画を考え工夫している。 ・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。		○	○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			
		だんなげう毎日食事をするの	48	・なぜ、食事が必要なのかに気付く事ができる。		・食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。		○		発言 記録	食料生産(小5社会) 生活の道具(小3社会)人の体のつくりと働き(小6理科) 植物の発芽、成長、結実(小5理科) 健康な体(小)3体育	できることを増やしてクッキング(小6) こんだてを工夫して(6年) 日常食の調理をしよう(中1) 地域の食材を生かした調理をしよう(中1)	

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
11・12	食べて元気に	ご飯とみそ汁を作ろう	49～55	・炊飯の仕方を理解するとともに、技能を身に付けることができる。 ・和食の基本となるだしや、みそ汁の調理の仕方を理解するとともにみそ汁作りの技能を身に付けることができる。 ・ご飯とみそ汁の二品を同時に仕上げるができるように、ご飯とみそ汁作りの計画を立てることができる。 ・食品の栄養的な特徴について課題の解決に向けて主体的に取り組む、五大栄養素の種類と体内での働きがわかる。 ・食品に含まれている栄養素の主な働きにより、食品を3つのグループに分けることができる。	10	・日本の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的な特徴について理解している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		
		日常の食事に生かそう	56	・栄養を考えた食事やご飯とみそ汁の調理の仕方についてふり返り、生活を工夫し、実践しようとする事ができる。	1	・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について工夫し、実践しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
1	生活を支える物やお金	よ物やお金の使い方を考え	58・59	・消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解することができる。	1	・消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解している。	○			発言 記録		持続可能な社会のために(小6) 消費者としての自覚を持つ(中2) 販売方法と支払方法について知ろう(中2) 商品の選択と購入について考えよう(中2) よりよい消費生活を目指して(中2)
		買い物の仕方を考えよう	60～64	・身近な物の選び方、買い方について理解することができる。 ・購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに、それに係る技能を身に付けることができる。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。	2	・身近な物の選び方、買い方について理解している。 ・購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに、適切にできる。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○		○	発言 行動観察 記録		
		これからの生活に生かそう	65	・身近な物の選び方、買い方について考え、工夫することができる。 ・身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりすることができる。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする事ができる。	3	・身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。 ・身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
2	着方の工夫で快適に	ろなぜ衣服を着るのだ	66	・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。	2	・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。				発言記録	健康な生活(小3体育科) 金属・水・空気と温度・天気の様子(小4理科)	衣服の手入れで快適に(小6) 衣服の働きを考えよう(中2)
		知衣服の働きを	67・68	・衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解することができる。		・衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。				発言記録		
		快適で安全な着方を工夫しよう	69	・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 ・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。	1	・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。				発言行動観察記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。				テスト		
暖かい住まい方で快適に	暖かい住まい方で快適に	な住のまだいろうなぜ必要	70	・寒い日を快適に過ごすために、工夫していることに気付くことができる。	2	・住まいの主な働きがわかり、季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。				発言行動観察記録	健康な生活(小3体育科) 光と音の性質・太陽と地面の様子(小3理科) 金属・水・空気と温度・天気の様子(小4理科) 我が国の国土の地形や気候(小5社会) 燃焼の仕組み・人体のつくりと動き(小6理科)	すずしい住まい方で快適に(小6) 健康で快適な室内環境を工夫しよう(中2) よりよい住生活を目指して(中2)
		うま暖い方快考適えよ住	71・72	・寒い季節の住まい方について課題を見だし、快適に過ごすための工夫を考えることができる。		・季節の変化に合わせた住まい方について理解している。 ・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見いだして課題を設定している。				発言記録		
		方暖をか工夫快し適よう住まい	73	・自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができる。	1	・季節の変化に合わせた住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。				発言行動観察記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。				テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
3	いっしょに「ほっとタイム」	なほとときとだするうのは、どのよう	74	・家族や周囲の人々との触れ合いや団らんに関心もち、その大切さがわかる。 ・家族や周囲の人々との触れ合いや団らんを楽しむことや、自分の思いの伝え方について計画を考えたり、工夫したりすることができる。	1	・家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。 ・家族とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。	○	○		発言記録	共に生きる地域での生活(小6) 家庭や家族の機能について考えよう(中1)	
		よ画イほつた	75	・家族とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。			○		発言行動観察記録			
		に続ほけつようた！イっしょ	76・77	・家族や周囲の人々など、自分の身近な人との触れ合いや団らんをふり返って考えたことを話し合い、これからの自分の生活の中で生かすことを考え、工夫することができる。	1	・家族とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ・家族とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		○	○	発言行動観察記録		
		返振り		・単元テスト			○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	生活時間をマネジメント	使った時間をどのようにするか	84	・自分がどのように時間を使っているかをふり返り、課題を見つけて、有効な時間の使い方を考えることができる。	2	・自分の時間の使い方の課題を見つけて、解決方法を工夫し、有効な時間の使い方を考えている。				発言記録	毎日の生活を見つめてみよう(小5) できるよ家庭の仕事(小5)	
		課題を見つけて時間を使いよう	85・86						○			
		マネージャー！生活時間の	87	・時間の使い方を工夫して生活することができる。	1	・生活時間を工夫し有効に使うことで、自分や家族の生活が円滑に営まれることを理解している。 ・生活時間の課題解決に向けて意欲的に取り組んだり、時間の使い方を工夫して生活しようとしていたりしている。	○		○	行動観察記録		
		「ゆめ調理」は調理が「うたため」	88	・「いためる調理」の特徴を知り、おいしくいためるための課題を設定することができる。	1	・おいしく食べるために、いためる調理の仕方について問題を見いだして、課題を設定している。				発言記録	クッキングははじめの一步(小5) できるよ家庭の仕事(小5) 食べて元気に(小5)	食事の役割について考えよう(中1) 栄養素の種類と働きを知ろう(中1) バランスの良い食事について考えよう(中1) 日常食の調理をしよう(中1)
5		いためる調理で、おかずを作ろう	89～91	・野菜をおいしくいためるための調理計画を考え、工夫することができる。 ・材料に適したため方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。 ・いためる調理の仕方について、実践を評価したり改善したりすることができる。 ・いためる調理に必要な用具の安全な取扱い、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに適切にできる。	6	・調理に必要な用具の安全な取扱いや、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、後片付けについて理解しているとともに適切にできる。 ・材料に適した切り方やいためるため方について理解しているとともに適切にできる。 ・おいしく食べるためにいためる調理の調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるために、いためる調理の調理計画や調理の仕方について実践を評価したり改善したりしている。 ・材料に適したため方について課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・材料に適したため方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
6		朝食を食べよう	92・93	・食事の役割がわかり、朝食を食べることの大切さについて理解することができる。 ・材料に適したため方や朝食に合うおかず作りについて工夫し、実践しようすることができる。	2	・食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。 ・材料に適したため方や朝食にあうおかず作りについて工夫し、実践しようとしている。	○		○	発言 行動観察 記録			
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			
	クリーン作戦で快適に	のなだせうじをする	94	・住まいの清掃の必要性に気づき、清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定することができる。	1	・清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定している。			○		発言 記録	整理・整とんで快適に(小5)	健康で快適な室内環境を工夫しよう(中2) よりよい住生活を目指して(中2)
		しよごれに合ったそうじを	95・96	・汚れやごみの種類、その場所に合った清掃の仕方・用具を考えて計画を立て、工夫して掃除をすることができる。 ・汚れの特徴に合った洗剤を選び、環境に配慮しながら、安全に使用することができる。	2	・住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ・清掃の仕方について、様々な解決方法を考え、実践に向けた計画を立て、工夫している。 ・清掃の仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○	○	○	発言 行動観察 記録			
	衣服の手入れで快適に	う身の回りを快適にしよ	97	・学校内の清掃の仕方についての課題解決に向けた一連の活動をふり返って評価・改善することができる。 ・学校での実践をもとに、家庭での実践を考え、家庭生活を快適にしようすることができる。	1	・清掃の仕方について、実践を評価・改善している。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと清掃の仕方について工夫し、実践しようとしている。			○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			
衣服の手入れで快適に	ろをなうすぜる手入れ	98	・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。		・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。				○	発言 行動観察	ソーイングははじめの一步(小5) 着方の工夫で快適に(小5)	衣服の手入れをしよう(中2)	
	を衣服のう手入れ	99～101	・日常着の手入れが必要であることを理解することができる。 ・洗濯の仕方を理解することができる。 ・洗濯が適切にできる。	3	・日常着の手入れが必要であることを、洗濯の仕方を理解しているとともに、洗濯が適切にできる。	○							
	手入れの工夫を調べよう	102	・日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。 ・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようすることができる。	1	・日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・生活をよりよくしようと、日常着の手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。			○	○	発言 行動観察 記録			

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
7	すずしい住まい方で快適に	住健康いで快適は適な	104	・暑い季節を快適に過ごすために、工夫していることに気付くことができる。	1	・健康で快適な住まい方の大切さを理解している。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○		○	発言 行動観察 記録	暖かい住まい方で快適に(小5) 太陽と地面の様子(小3理科) 金属・水・空気と温度(小4理科)	住まいの役割と住まい方を考えよう(中2) 衣服の働きを考えよう(中2) 衣服の手入れをしよう(中2)	
		う方適すなす考住しえまよくい快	105 ~ 107	・暑い季節の住まい方について課題を見だし、快適に過ごすための工夫を考えることができる。	2	・すずしく快適な住まい方について、理解している。 ・暑い季節の住まい方について問題を見だし、課題を設定している。	○	○		発言 記録	我が国の国土の地形や気候(小5社会) 病気の予防(小6体育)		
		そ考生うえ活、快生適活にラ生かを	108	・自分の生活に合わせて生活快適プランを考え、快適な住まい方を実践しようとする事ができる。	1	・快適な住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。			○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○			テスト		
9	ソーイングで生活を豊かに	ろいふどのやくのするよいがうだ使な	110	・身近な布のふくろについて関心をもち、使う目的に応じた工夫を見つることができる。	10	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について問題を見だし課題を設定している。			○	発言 記録	ソーイングはじめの一步(小5) ミシンで楽しくソーイング(小5)	生活を豊かにするための工夫をしよう(中2) 生活の課題と実践(中2)	
		目的に合ったふくろを作ろう	111 ~ 115	・布を用いたふくろの製作について問題を見だし課題を設定することができる。 ・自分の作りたいふくろの材料や手順がわかり、製作計画を立てることができる。 ・用具の安全な取り扱いを理解し、布を裁断し、正しくしるしをつけることができる。 ・製作計画をもとに、縫い方や手順を考え、工夫して製作することができる。		○	○	○	発言 行動観察 作品 記録				
10		に作ったふくろで生活を豊かに	116 ・ 117	・製作計画や製作の仕方について評価したり、改善したりして、生活をよりよくする工夫を考えることができる。	1	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫について、実践を評価したり改善したりしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現している。			○	発言 記録			
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○			テスト		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との関連(同学年を含む)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
		い組料理の合わせ食をどよに	118	・1食分の献立の栄養バランスについて問題を見いだして課題を設定することができる。	1	・1食分の献立の栄養バランスについて、問題を見いだして課題を設定している。		○		発言記録	クッキングははじめの一步(小5) できるよ家庭の仕事(小5) 食べて元気に(小5) 体の発育・発達(小4 体育科) 病気の予防(小6 体育科)	バランスの良い食事について考えよう(中1) 何をどのくらい食べればよいか考えよう(中1) 生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう(中1) 食品の選択と購入について考えよう(中1) 日常食の調理をしよう(中1) 生活の課題と実践(中1)
11	こんだてを工夫して	よ1食分のこんだてを立て	119 ~ 121	・献立を構成する要素がわかり、1食分の献立作成の方法について理解することができる。 ・1食分の献立の栄養バランスについて考え、工夫することができる。 ・栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとすることができる。	2	・献立を構成する要素がわかり、1食分の献立作成の方法について理解している。 ・1食分の献立の栄養バランスについて考え、工夫している。 ・栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	発言行動観察記録		
12	工夫して毎日の食生活に生かそう	工夫して毎日の食生活に生かそう	122 ~ 124	・1食分の献立作成やおいしく食べるための調理の仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとするすることができる。 ・1食分の献立作成やおいしく食べるための調理の仕方について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現することができる。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事やおいしく食べるための調理の仕方について工夫し、実践しようすることができる。	7	・材料に適したゆで方やいため方を理解し適切に調理できる。 ・1食分の献立作成やおいしく食べる調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことをわかりやすく表現している。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事やおいしく食べるための調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善しようとしたり、生活を工夫し、実践しようとしている。	○	○	○	発言行動観察記録		
		返振り		・単元末テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト		
1	共に生きる地域での生活	わ地域をの見ためちよのかか	126 ・ 127	・家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることがわかり、地域の人々との協力が大切であることが理解できる。	1	・家庭生活は人々との関わりで成り立っていることがわかり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。		○		発言記録	いっしょに「ほっとタイム」(小5) 家族等日頃世話になっている人々への感謝(小1~5 道徳) 自然災害の防止(小5 社会)	家庭生活と地域との関わりを考えよう(中1) 家庭や家族の機能について考えよう(中1) 中学生としての自立を考えよう(中1)
		動地し域てのみたちとかかわり行	128 ・ 129	・地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定したり、「地域かかわりプロジェクト」の計画を立て、実践したりすることができる。	2	・地域の人々とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて、課題の解決に受けて主体的に取り組もうとしている。		○	○	発言行動観察記録		

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)	
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
2		う 地域の人たちと共に生きよう	130・131	・「地域かかわりプロジェクト」の実践をふり返って実践計画を評価・改善し、地域の人々と、よりよく関わっていくために考えたことを表現し、家族や地域の人々との関わりについて生活を工夫しようとすることができる。	2	・地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・地域の人々とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。 ・地域の人々とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。		○	○	発言 行動観察 記録			
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			
3	持続可能な社会のために	え 生活と環境の関係を考えよう	132	・自分の生活と身近な環境が相互に関係していることに気付くことができる。	1	・自分の生活と身近な環境が関係していることに気付いている。 ・環境に配慮した生活について考えている。		○	○	発言 記録	整理・整とんで快適に(小5) 資源の確保とごみの処理(小4社会) 環境保全(小5社会) 工業生産・運輸(小5社会)	健康で快適な室内環境を工夫しよう(中2) よりよい住生活を目指して(中2)	
		う 生活と資源の関係を考えよう	133	・人や環境に配慮した、資源としてのものの扱い方を理解し、日頃の生活においても自分ができそうな工夫を考えることができる。	1	・地球の資源やエネルギーを効率よく循環させることの重要性を理解している。 ・身近な生活でできる、人や環境に配慮した工夫について考えている。		○	○	発言 記録			
		う 生活の中で取り組もう	134・135	・持続可能な社会構築の視点から、今後自分も家庭生活の中で取り組む内容や生活の工夫について考えることができる。	1	・生活を見直し、資源やエネルギーの使い方について問題を見いだし、課題解決の方法を考えている。 ・持続可能な社会の構築の視点から、自らの家庭生活をふり返り、よりよい生活の仕方を工夫しようとしている。			○	○	発言 行動観察 記録		
		返振り		・単元テスト		・既習事項を理解している。	○	○		テスト			
		校2に年間の学習を振り返り、できるようになったことを確認することができる。 ・中学校での学習に興味をもち、意欲を高めることができる。	136・137		1	・2年間の家庭科学習で学んだことの活用の仕方を理解している。		○		発言 記録			
	生活の課題・計画			・家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践し、評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。	1	・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりの中から問題を見い出して課題を設定している。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて、よりよい生活にするための解決方法を考え、計画を工夫している。 ・家庭の仕事又は、家族や地域の人々との関わりについて			発言 行動観察 記録	※課題の設定・計画・評価を2時間で想定し、実践は長期休業中などの時間外にしています。指導学年・時期は限定されません。			

月	単元	小単元	ページ	到達目標(活動目標)	時間	評価規準	主な評価の観点			評価の方法	既習事項で押さえるべき内容 他の教科との関連	上級学年・中学校との 関連(同学年を含む)
							知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に学習に 取り組む態度			
	題と実践	発表		・家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとする事ができる。	1	関する課題の解決に向けて実践した結果を評価したり改善したりしている。 ・家族や地域の一員としてよりよい生活にするために、家庭の仕事又は、地域の人々との関わりを工夫し、実践しようとしている。						